各位

2016 年 6 月 1 日
株式会社システナ
（東京証券取引所市場第一部　証券コード：2317）

システナ、サイオステクノロジー株式会社と LifeKeeper SI パートナー契約を締結

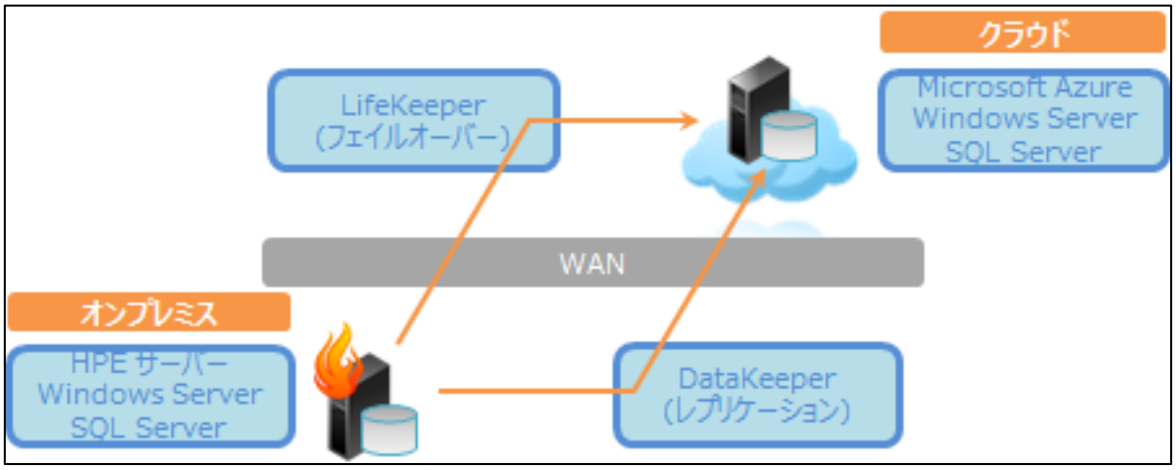
～ 低コストな BCP 対策を目指して「ハイブリッド BCP サービス」を開始 ～

株式会社システナ（本社：東京都港区、代表取締役社長：三浦賢治）は、サイオステクノロジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：喜多伸夫）と 2016 年 6 月 1 日に Lifekeeper SI パートナー契約を締結いたしました。Lifekeeper SI パートナー契約の締結とあわせて低コストな BCP 対策を目指し、「ハイブリッド BCP サービス」の提供を 2016 年 6 月 1 日から開始いたします。

サービス開始の目的

コンピュータシステムの中核となるデータベースの停止は、システム全体に多大な影響を与えます。停止時間が長引くことで、企業の事業継続は困難となります。多くの企業では、定期的なバックアップによって対策していますが、システムやデータの復元には多くの作業と時間を要し、障害からの迅速な回復は図れません。障害からの迅速な回復を図る構成として、複数台のサーバと共有ストレージを利用した HA クラスタ構成を組む方法が考えられますが、この構成を実現するにはスタンバイ系のサーバや高価な共有ストレージを用意し、システムとして維持し続けるコストと要員が必要です。そのため、「理想的な事業継続」の対策ができていないと考える企業が多くあります。

そこで、BCP 対策が不十分と考える企業のニーズに対し、安価な構築・維持が可能なマイクロソフトのクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」と、高い可用性を持つ「LifeKeeper/DataKeeper」を組み合わせることで、コストを抑えた事業継続ソリューションをご提供いたします。高度な IT 知識を必要とせず BCP 対策が導入できるよう、機器導入、HA クラスタ環境構築、サポート対応をワンストップでご提供し、システナの強みであるトータル・ソリューション・サービスのひとつとして「ハイブリッド BCP サービス」を展開いたします。

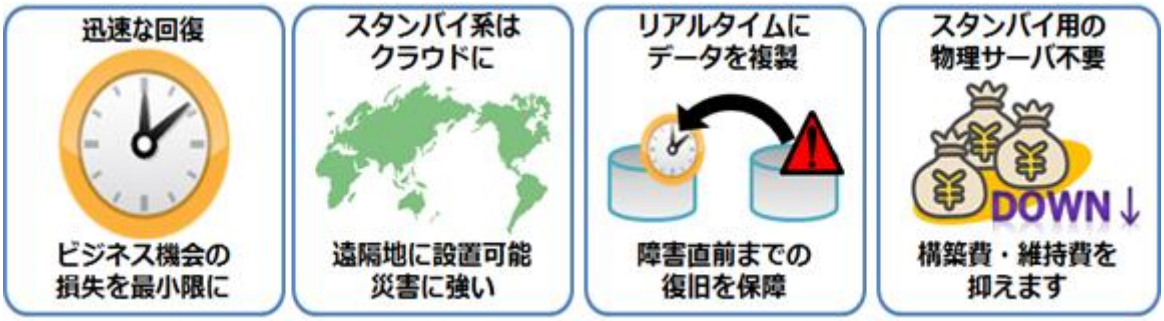


サービスの特長

Windows Server と SQL Server で構築された物理サーバ[1]（オンプレミス）と Microsoft Azure 上のサーバ間で、サイオステクノロジー株式会社の LifeKeeper for Windows / DataKeeper for Windows を使用してクラスタを構成します。

オンプレミス側に障害が発生すると、Microsoft Azure で自動的に SQL Server を起動し、処理を再開します。データはリアルタイムにオンプレミス側から Microsoft Azure へ複製され、オンプレミス側でディスク障害があっても、障害直前までのデータで処理を再開できます。

1. 障害発生時においてもサービスの迅速な回復が図れ、ビジネス機会の損失を最小限に抑えます。
2. スタンバイ系サーバを Microsoft Azure 上に構築するため、災害発生時も被害を受けることなくシステムを稼動することが可能です。
3. スタンバイ系サーバを Microsoft Azure 上に構築するため、他拠点にサーバを設置する必要がありません。
4. データはリアルタイムにスタンバイ系サーバに複製されているため、障害直前までのシステム復旧が保障されます。
5. 通常使われないスタンバイ系サーバをオンプレミスに準備する必要が無いため、物理的なサーバの維持費や構築費を抑えることができます。



サービスの概要

サービス名	：	ハイブリッド BCP サービス
提供サービス	：	機器購入、HA クラスタ環境の構築、サポート対応
標準価格	：	導入費用：200 万円～／保守費用：73 万円～（年間契約）

「ハイブリッド BCP サービス」についての検証結果をまとめたホワイトペーパーを、ITmedia にて公開しております。

ITmedia サイト：http://techtarget.itmedia.co.jp/tt/news/1605/20/news02.html

[1]日本ヒューレット・パッカード株式会社製のサーバを利用しております。

サイオステクノロジー株式会社からのコメント

サイオステクノロジーは「ハイブリッド BCP サービス」の提供開始を心より歓迎いたします。BCP 対策の重要性はますます高まっており、安価に構築・維持が可能である Microsoft Azure を利用したトータル・ソリューション・サービスは、お客様の IT システムの柔軟な運用と信頼性の向上に大きく寄与するものと確信しています。サイオステクノロジーは株式会社システナ様と新たなパートナーシップのもと、お客様のビジネスに新たな価値を提供していきます。

サイオステクノロジー株式会社　代表取締役社長　喜多　伸夫

日本ヒューレット・パッカード株式会社からのコメント

日本ヒューレット・パッカード株式会社は、株式会社システナの「ハイブリッド BCP サービス」の提供開始を歓迎します。
システムのダウンタイム長期化を防ぎ、ビジネス機会損失を最小化することは、現在の企業システムで必須といえる状況となっております。「ハイブリッド BCP サービス」によって、これまで充分に対策がとられていなかった IT システムを含め、数多くの環境で事業継続が実現することを期待しております。今後も日本ヒューレット・パッカードは、管理性と可用性、かつ耐障害性の高い IT プラットフォームの提供を通じて、お客様に高い付加価値を提供してまいります。

執行役員　エンタープライズグループ事業統括　サーバー事業統括本部長　　大月　剛

日本マイクロソフト株式会社からのコメント

日本マイクロソフトは、システナ様の「ハイブリッド　BCP　サービス　」の提供開始を心より歓迎いたします。
災害やシステム障害などの緊急事態に未然に対応するため、企業にとって事業継続性の担保が重要視される中、日本に東西２つのリージョンを持つ Microsoft Azure を活用いただくことで、高いセキュリティを保ちながら、迅速な復旧を実現することが可能となります。今後も日本マイクロソフトは、システナ様と連携しながら中堅中小企業のお客様へより安心で、安全な BCP 対策の実現をご支援してまいります

日本マイクロソフト株式会社　業務執行役員　SMB 営業統括本部　統括本部長　佐藤　亮太

株式会社システナについて

社名	：	株式会社システナ
所在地	：	〒105-0022　東京都港区海岸 1 丁目 2 番 20 号　汐留ビルディング 14F
代表者	：	代表取締役社長　三浦　賢治
資本金	：	15 億 1,375 万円（平成 28 年 4 月 1 日現在）
設立	：	1983 年 3 月
上場金融商品取引所	：	東京証券取引所市場第一部（証券コード：2317）
URL	：	http://www.systena.co.jp
事業内容	：	モバイル機器ソフトウェアの開発・品質検証、金融機関および Web ビジネス向けシステム開発、システムの運用・ヘルプデスク、IT 商品の販売、クラウドサービスなど、システムの企画・設計・開発・導入から保守・ユーザーサポートまでのトータル・ソリューション・サービスの提供

お問い合わせ先	：	株式会社システナ　フレームワークデザイン本部　ダイバーシティ推進室 担当者：土屋　俊介 TEL：03-6367-3848　FAX：03-3578-3017 E-Mail：fwd-diver-ml@systena.co.jp
	：	株式会社システナ　ソリューション営業本部 ソリューション推進部 担当者：佐藤　壮 TEL：03-6327-7180　FAX：03-3578-3023 E-Mail：info-sol@systena.co.jp

LifeKeeper/DataKeeper について

LifeKeeper/DataKeeper はサイオステクノロジー株式会社が提供する HA クラスタソフトです。システムの障害を監視し、障害時に業務を引き継ぐ HA クラスタ機能、データをリアルタイムに複製するデータレプリケーション機能により、大規模な仮想環境や多彩なクラウド環境に対応し、IT システムの高可用性を実現します。LifeKeeper は物理サーバの分野では既に多くの実績を有しており、更にクラウド上での活用が広がっています。仮想 to 仮想、物理 to クラウドといったシステム構成にも対応しています。また、DataKeeper は、データの複製をリアルタイムで行い、障害直前までのデータを保護します。

これらを併用することで、クラウドベンダのデフォルトのサービスではカバーできない部分まで、くまなく可用性を高められるようになります。

サイオステクノロジー株式会社について

サイオステクノロジーは、Linux に代表されるオープンソースソフトウェアの開発と利用を軸に、OS（基本ソフトウェア）、サーバ、Web アプリケーション、クラウドコンピューティング、ビッグデータに関わるソフトウェア製品とサービスの提供を行っています。直近では急速に進展する IT インフラ仮想化を支えるため、機械学習機能を搭載した IT オペレーション分析ツールを開発し、提供を開始しました。

これからも革新的なソフトウェア技術を追求し、世界の IT 産業に影響力のある存在、「インフルエンサー」となって価値を創造し、社会の発展に貢献してまいります。

詳細情報は、www.sios.com および sios.jp をご覧ください。

*記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
*ニュースリリースに記載された製品/サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。